

第2次環境基本計画 環境プロジェクトごとの平成25年度取組概要

資料 1

環境目標像:水環境のまちニセコ

		環境プロジェクト		住民	行政	その他	平成25年度実績	
1	水源地と地下水の保全	1 水道水源保護条例に基づく水源地の保全	水源地の地権者等への理解と協力を求めます。		○		・道条例に基づく土地所有者の移転について、事前届出の必要のない移転情報の更新を行った。	
			条例の充実に向けて検討します。		○		・許可申請案件なし。	
		2 地下水保全条例に基づく地下水の保全	規制対象井戸使用・予定者に対する理解と協力を求めます。		○		・ホームページによる条例の周知 ・窓口での問い合わせ対応	
	地下水の利用状況の把握に努めます。			○				
			工事等による地下水脈への影響が出ないように関係機関に要請活動を行います。	○	○			
			条例の充実に向けて検討します。		○		・許可申請案件なし。	
		3 地域住民等による水道水源地に関する情報の共有	水源地見学会やクリーンアップ作戦等により情報の共有を図ります。	○			・平成26年度開催の環境自治体会議ニセコ会議フィールドワークで水源地の視察を予定する。	
	2	水辺の環境と生態系の保護・保全	1 尻別川流域町村による尻別川の自然環境を守る広域的な活動への積極的な参加	統一条例連絡協議会の活動を住民に周知します。		○		・尻別川連絡協議会ニュース第3号の住民配布
				統一条例連絡協議会と住民の意見・活動の交流の場を運営します。		○		
尻別川の水質保全、野生生物の生息状況等の調査や生態系の保護・保全を広域で統一的行います。					○		・後志地域生物多様性協議会(事務局:黒松内町)への参画	
2 河畔等水辺環境の生物調査と観察会の実施			真狩川下流域やカシュンベツ川有島記念館周辺等、河川環境と人間の生産活動の関わりが感じられる場所を選定して、親水活動の多様なプログラムをモデル的に実践します。	○	○		・水生昆虫観察会を2回開催(H25.6.30、7.31)	
			かつての澱粉工場跡や近年のマイクロ水力発電設置場所等、河川と人間の関わりを学び体験する場所の設定とプログラムをつくり	○	○		・マイクロ水力発電機の一般貸出しへ向けた準備	
			親水活動を指導できる人材を発掘し、「環境マイスター」として活躍できる仕組みをつくり	○	○			
			地元学等の手法により、地域資源に根ざした体験プログラムを実践します。		○			
3 河畔林や魚付き林の保全・回復			尻別川統一条例連絡協議会が流域全体として取り組む事業として提案し、自主的に実践していきます。	○	○			
4 生物多様性のシンボルとしてイトウを守る			小学校におけるイトウの稚魚放流等、校外スクールを推進します。		○			
	イトウを守ることに実効性をもたらす新たな広域的な仕組みをつくり	○	○		・オビラメの会主催イトウパネル展とシンポジウムを開催(10月12日~17日ニセコ会場、1月14日~19日東京会場)			
	イトウの産卵・ふ化の適地選定と、保護活動を行う民間団体の活動に参加し支援	○	○		・オビラメの会への協力(採捕許可申請協力、補助金等情報提供)			
5 地域に存在する外来種については、これ以上の侵入を防ぐ方法について検討	在来種と外来種の実態観察会を開催	○	○					
	外来種のペット等をなるべく飼育しないよう、また外来種ペットの飼い方に関する啓発	○	○					
6 本来の河川生態系を回復できるよう、河川の人工工作物を可能な限り自然に近い状態にする	外来種の野生動物等による農業被害の実態を調べ、その駆除等の対策を進めます。	○	○					
	統一条例連絡協議会として関係機関に働きかけるよう、積極的に活動	○	○					
7 河川等の水辺環境やその流域全体の自然景観を保全	水辺環境や流域全体について、景観条例に基づく景観保全に取組み		○		・景観条例の運用 協議8件			
	町内で保全すべきと思われる景観について、住民参加により選出し、保全に向けた取組について検討	○	○					
3	水質の保全	1 尻別川とその支流の水質向上を図	水質悪化の実態把握と改善方法、防止に向けた活動		○		河川清掃活動(真狩村・京極町・蘭越町・喜茂別町)	
			導入促進に向けた個別啓発を進め		○		合併処理浄化槽の設置24件(うち、町補助金利用18件)	
		2 合併処理浄化槽等の排水処理施設の普及に向けた支援を継続	導入促進に向けた新たな支援策について検討		○			
			大規模な営業用施設等の排水水質規制を検討		○			
			洗剤等による汚染や浄化槽への影響等の勉強会を開催	○	○			
3 バイオトイレ等環境調和型処理システムの導入促進	排水の水質や排水先について、基準に即して管理	○		事業者				
4 河畔へのごみ投棄の防止	様々なタイプの処理システムについての情報収集と比較検討		○					
	農業者、釣り人等への啓発を強化	○	○	事業者				
	河川の多様性を図る	河川管理者や住民による巡回と監視活動	○	○				
		河川に関わる様々な主体と尻別川統一条例連絡協議会の定期的な情報交換等により連携活動	○	○				
	河川の利用状況に関する情報共有の仕組みづくりを進める	民間団体や各種河川利用主体による自主的なルールづくりの促進と、行政による支援を進め	○	○				

		環境プロジェクト		住民	行政	その他	平成25年度実績		
4	仕組 みづく りにつ いて調	3	灌漑溝や農業用排水路の水質保全や親水性の確保等に向けたルールづくり	○	○		・有島謝恩会による有島灌漑溝の草刈清掃活動		
		4	水環境に関わり活動している民間団体を支援する		○		・オビラメの会への協力(採補許可申請協力、補助金等情報提供)		
5	森林環境の保全・育成	1	天然林を守り育てる	○					
		2	水源地周辺の森林を守り育てる	○					
		3	人工林の育林を充実する	森林の伐採計画に伴う植林計画の適切な遂行を見守ります。	○	○			
				森林整備計画(H24年度～)により適切な森林管理を指導します。		○		・ニセコ町森林整備計画の進行	
		4	里山(身近な自然)を育成する	植林に際して針広混交林の形成を誘導します。	○	○	所有者	・ニセコ森と緑の会活動支援(事務局:町)	
				森の手入れに向けた有志のボランティア参加の仕組みをつくりま	○				
		5	間伐材等木質バイオマスの利活用を進める	里山の現状と利活用の可能性について把握します。	○				
6	温室効果ガス(二酸化炭素)を吸収する森林を植え守り育てる	共同利用に関する地元ルールを話し合っ	○						
1	環境と調和した安全・安心な農産物の生産	1	土づくりと地域循環型クリーン農業の推進	里山を住民が利用できるモデル地区をつ	○		所有者		
				バイオマス資源としての新規利活用について、事例収集等を行いながら、可能性について調査します。		○			・綺羅乃湯温泉木質バイオマス導入実証可能性調査の実施
		2	クリーン農産物の生産と流通促進	二酸化炭素を効率的に吸収する樹種や樹齢等について植林計画を作成し、適切な場所に森を造成します。	○	○	事業者		
				保全すべき自生植物群落(カタクリ、エゾリュウキンカ等)について住民参加により調査を行い、保全モデル地区として設定し	○	○			
		3	人と環境にやさしい農産物の地産地消を推進する	湿地や斜面等の未利用地も、自然生態系の観点から重要な地点については住民参加により調査を行い、保全対象として指定	○	○			
				品質を示すラベル表示システムをつくり	○	○	事業者		
		4	休耕地、耕作放棄地等を環境調和型の市民農園として活用検討する	総合的な土地利用調整計画を策定検討		○			
有機質資源確保、完熟堆肥の計画的な施用等土づくりの推進と支援を行います。				○					
2	自然エネルギーの削減と温室効果	1	自然エネルギーの導入拡大に向けて多様な方式について検討を進める	土壌診断に基づく効率的な施肥・防除を進めます。	○	○	事業者	・土壌診断事業補助(1/2補助)	
				ニセコ町独自のクリーン農業認証制度について検討を行います。	○	○	事業者		
		2	自然エネルギー研究会等の活動を支援	使用肥料や農薬に関するトレーサビリティ情報の地域内共有を進めます。		○		事業者	
				クリーン農産物に関する技術支援と人材育成を進めます。		○		事業者	・普及センターとの連携
		3	公共施設等を中心に自然エネルギーの導入を進める	ビュープラザを含め、リゾート地や町内各地に販売拠点をつくり	○	○	事業者等	・ニセコビュープラザ直売会協働組合設置(H25.5.17)	
				品質を高めるための品質チェックシステムをつくり	○	○	事業者		
4	民間施設への自然エネルギー導入の促進	農地流動化支援事業や農地利用集積事業、国営農地基盤整備事業等による不耕作地の実態調査を行います。		○		所有者	・農地流動化支援事業、農地利用集積事業、国営農地基盤整備事業の実施継続		
		農地所有者と町による利用推進の仕組みをつ		○					
省	資源やエネルギー	1	スマートコミュニティの構想について研究と検討を深める	移住促進政策における、短・中・長期のお試しプログラム等において活用検討します。		○			
				雪氷熱、風力、中小水力、地中熱、温泉熱、太陽熱等の自然エネルギー利用拡大に向けた取組を進めます。	○	○	事業者	・地域づくり研修会「雪中いも掘り体験を通じた環境学習」の開催	
				自然エネルギーの積極的な導入により、温室効果ガスの削減を進めます。	○	○	事業者	・公共施設での地中熱ヒートポンプの運用	
2	2	民間施設への自然エネルギー導入の促進	自然エネルギー研究会等の活動を支援	○	○		・自然エネルギー研究会活動支援(事務局:町) 補助金の支出、第8回雪の市民会議inニセコ開催		
			導入後のコストや効果等に関する情報を公開		○				
3	3	スマートコミュニティの構想について研究と検討を深める	公共施設への地中熱利用ヒートポンプ等先導的な自然エネルギーの導入を推進		○		・高齢者グループホームへの地中熱ヒートポンプの導入		
			導入後のコストや効果等に関する情報を公開		○				
4	4	民間施設への自然エネルギー導入の促進	民間施設への導入に向けて、導入後の状況等に関する情報交換の場を運営	○	○	事業者	・雪氷倉庫導入促進事業補助(利用者なし)		
			スマートコミュニティ実現に向けて調査研究を進		○			・環境モデル都市の選定	
5	5	スマートコミュニティの構想について研究と検討を深める	リユース、リサイクル、リデュースについて啓		○		・町広報誌で2ヶ月に一回のクリーンステーションコーナーにて啓		
			発を行います。		○				

		環境プロジェクト	住民	行政	その他	平成25年度実績	
を大切に使う取組	3	1 リユース・リサイクル・リデュース(3R)の定着	省資源・省エネルギーに関する多様な知恵や工夫の情報の蓄積と情報発信を行います。		○		
			“もったいない”精神を文化活動として楽しむ住民活動等を促進・支援します。	○	○		
			DIY等リサイクルに関する啓発を行います。		○		
		2 省資源・省エネルギー型の生活への切り替え	エコカーへの更新を進めます。	○	○	事業者	・スマートエネルギー機器(電気自動車等)デモ展示(防災訓練及び産業まつり会場)
			一般住宅の省エネ改修補助を実施します。		○		・住宅省エネルギー改修促進補助金 実績1件
			デマンドバス等による公共交通網の拡大展開を進めます。		○		・デマンドバスの運行
	4	1 ごみの分別が徹底できるよう周知を図る	ごみの分別がわかりやすくなるような講習会や見学会等、工夫した啓発を行います。		○		・ホームページでごみの分別等を周知
			分別の工夫アイデアを公募し情報交換する広報活動を行います。		○		
			ごみ排出量増加傾向の背景分析を行います。		○		・一般廃棄物処理基本計画の全面改訂
		2 ごみの排出量の低減に向けた取組を行う	ごみの排出量削減に向けた啓発を強化します。		○		・町広報誌で2ヶ月に一回のクリーンステーションコーナーにて啓発
			グリーン購入に関する情報提供と実践を進めます。	○	○	事業者	
		3 ごみの行方についての情報を共有する	ごみ処理や再分別のリサイクル施設等の見学会を実施します。		○		
			生ごみの自家堆肥化を実践しているケースについては、野生動物対策を啓発します。堆肥センターで作られる堆肥の消費拡大を進めます。	○	○	事業者	
		4 ごみ処理に関する環境負荷等の情報を共有する	LCAによる評価算出を試行します。		○		
		5 河畔や森林等見えない場所への不法投棄を防ぐ	水辺における農薬や化学肥料の容器の不法投棄防止に向けた啓発活動を強化します。		○		
周辺住民からの通報、環境美化巡回、クリーンアップ作戦の実施等による法投棄の防止・抑制を図ります。			○		・担当課での巡視実施		
悪質なケースに関しては、監視カメラの設置検討や警察への通報を行います。			○		・不法投棄について警察への通報		